

令和
6年度

香川県中讃地区 COMPASS 児童発達支援センター

事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	香川県中讃地区 COMPASS 児童発達支援センター
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日～令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 79名 (回答者数) 71名
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日～令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 22名 (回答者数) 22名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月25日

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の人数が多いため、支援方法について多角的な視点で相談でき、適切な支援を行っております。	療育の様子だけでなく、ホールでの様子も含め、児童の成長や変化が見られた際には、積極的に情報共有を行っております。	今後も職員同士のコミュニケーションを大切に、些細なことでも共有し合える環境づくりに努めてまいります。
2	職員一人ひとりが児童と真剣に向き合い、1回の療育時間を大切にしております。	療育時間だけでなく、児童の滞在時間全体を意識し、様子を見守ったり、積極的に声をかけることで信頼関係の構築に努めております。	今後も児童一人ひとりとの関係づくりを意識し、得意なこと・苦手なことを把握しながら、意欲を高められるような声かけを行っております。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の数が多いため、情報の伝達に時間を要することがございます。	非常勤職員も多く、午前・午後で勤務が分かれることもあり、一斉に顔を合わせる時間を確保するのが難しい状況です。	情報の伝達ミスや伝え忘れがないよう、職員の連絡ノートを活用し、共有すべき事柄を確実に確認できる体制を整えてまいります。
2			
3			